

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立上田上小学校

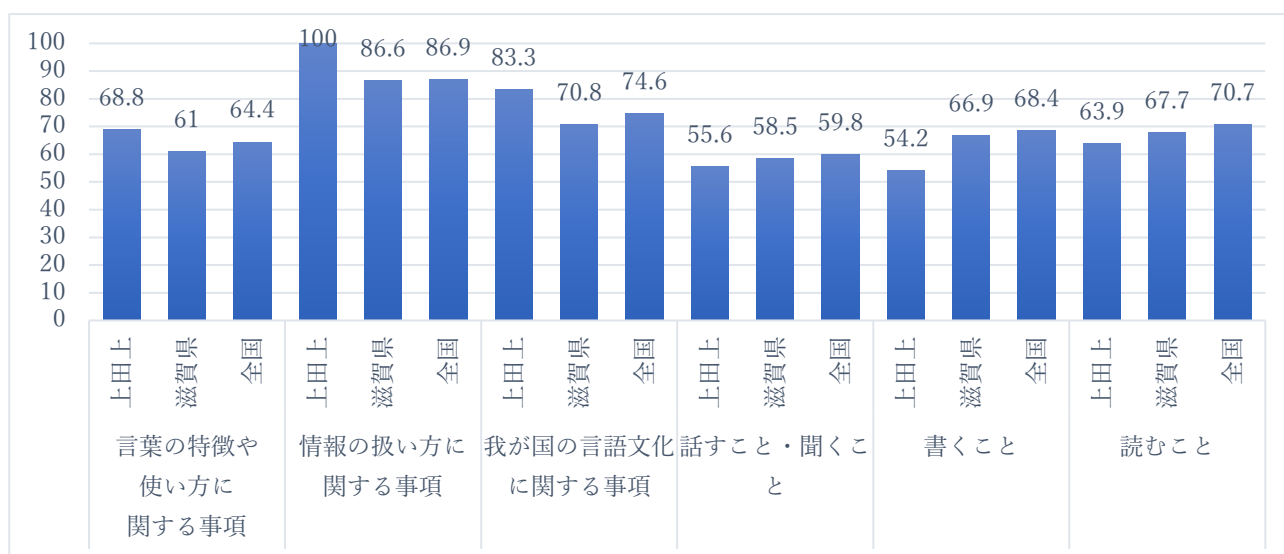
調査目的◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

【結果について】～我が校の強みと弱み、指導の充実に向けて～

国語科、算数科、児童質問紙で調査が行われました。

*本校の傾向を見るものであり、学校ごとに基準が異なるため、他校と比較できるものではありません。

【国語】 全体平均正答率(%) 本校 66 大津市 67 滋賀県 65 全国 67.7



問題の傾向

- ・本年度は物語文があり、とても長文だった。
- ・登場人物の考えを直接問うものでなく、一度他者を介した感想や読者の考えを問う問題があった。
- ・他者とのやりとりが書かれた問題文が出題されていた。
- ・総合等での体験学習や、ICT を使った交流等近年全国的に力を入れている分野が問題になっている。
- ・一定の条件を満たして自由記述する問題が2問出題されている。

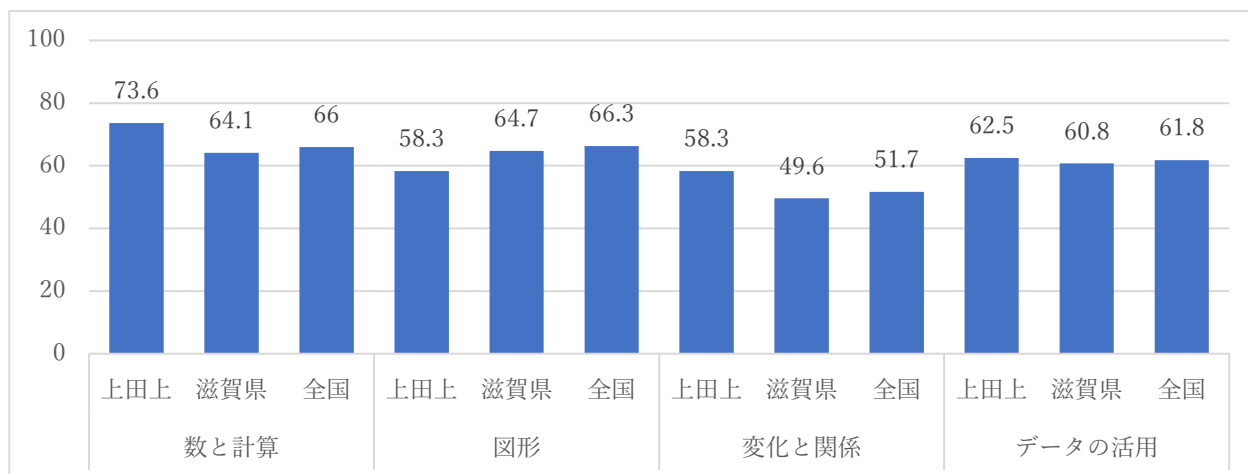
結果分析

- 質問紙回答から、「国語は大切、将来役に立つ」とほとんどの子が考えている。
- 様々な情報を分類して、まとめ人前で発表する取り組みが、成果として表れているかも知れない。
- △4択問題の選択間違いについて精査できなかった児童がいた。
- △条件に合わせて「書くこと」が苦手。

指導の充実に向けて

- ・読書や新聞を読むなどの機会が少ない。長文に触れる機会を意識して時間を取るようにする。(朝読書)
- ・「書くこと」について。長文をまとめて書けるようになるために、作文や日記、説明の文を日常的に取り入れていく。書かせる時は、「条件」に沿って書く機会を意図的に設ける。
(例、「何文字以内」「この内容で」「自分の気持ちを必ず書く」「今後こうしたいという思いを入れる」等)
- ・国語科に限らず、多くの情報をまとめ、精査し発表する学習を積極的に取り入れていく。
- ・話し合いの場面(他者とのやりとり)を授業の中で取り入れる。なのはなタイムや学級会で話し合い活動の経験を重ね、共に学び合い学びを深められる子を育成する。

【算数】 全体平均正答率(%) 本校 66 大津市 64 滋賀県 62 全国 63.4



問題の傾向

- ・問題文が長く、よく読み理解して答える問題が非常に多かった。
- ・計算しなくても解けるが、問題の意味が読み取れないと「難しい」と感じてしまう問題が数問あった。
- ・問題の解き方や、人の考え方を理解して答える問題が目立った。
- ・求め方や理由を、順をおって文字と数字で書いて答える問題が4問出題されていた。
- ・4, 5年生の学習内容がほとんどだった。

結果分析

- 質問紙回答から、「算数は大切、将来役に立つ」と考えている児童は100%であった。
- 図形以外は、県や全国の正答率よりも上回っている。
- 専科指導、少人数の環境などから、一人ひとりに丁寧に指導する機会が多いことが影響しているのではないかと。
- △「図形」や「変化と関係に関わる問題」が全国的に正答率が低い。
- △問題文が長く、少し複雑に書いてある問題に対して、理解もしくは思考できず結果につながらない回答が見られた。

指導の充実に向けて

- ・計算問題に取り組むだけでなく、文章問題や、日常に即した問題に接する機会を積極的に増やす。
- ・「読み解く力」がついていないと解けない。教科を超えて、少し長い文や資料を正しく読み解く機会を増やす。(朝読書、理科・社会科の学習等)
- ・順序立てて考える経験が必要。算数科の学習だけでなく、考えをノートに文で書く活動や、人に説明をする機会を授業で増やす。(話し合い活動)
- ・図形の学習は、想像することが難しい。視覚支援や操作的活動を取り入れる。授業で使った視覚教材を積極的に校内に掲示する。

【児童質問紙】から

- 国語や算数、英語の学習は将来のために大切だと感じている。
- 生活習慣は整っており、家庭基盤があるといえる。地域のことも好き。約束を守りととても真面目。
- 友人関係に満足しており、学校での人間関係や教師との関係は良好とみられる。
- 授業でのICTの活用について、将来役に立つと考えている子が多く、実際に活用していると感じている。今後も授業や家庭等での積極的な活用が期待される。
- △学習は将来のために大切だと感じているものの、苦手意識をもっている子もいる。
- △良好な人間関係と、安心できる環境であるものの、大人に頼ることを躊躇する子が多い。
- △日々の家庭学習や、家庭での読書時間が少ない。